

広報宣伝担当者も YouTuber になる時代！？ くら寿司が誇る人気急上昇中の YouTuber「イナバ」の撮影裏側に密着！

～びっくら驚く！企業 YouTuber ならではのやりがいと苦悩とは？～

世界中で毎分 500 時間分の動画がアップロードされる YouTube。今や一般の方から、芸能人、スポーツ選手だけでなく、企業も情報発信のプラットフォームとして自身のチャンネルで情報を発信するなど、YouTube への関心がますます高まっています。そんな YouTube の世界にくら寿司も参戦！！くら寿司公式 YouTube チャンネル「178 イナバニュース」で活躍しているくら寿司公認 YouTuber “イナバ”こと稲葉亘平(44)の活動を通して企業 YouTube の実態をご紹介します。

くら寿司が誇る YouTuber「イナバ」ってどんな人？

普段 YouTube は一切見ていなかったにもかかわらず、上層部の鶴の一声で始めた YouTube に、意外にハマってしまい、生活の約 8 割が YouTube に染まった男「イナバ」



くら寿司公式 YouTuber「イナバ」こと稲葉亘平とくら寿司との出会いは、稲葉が大学時代まで遡ります。小学校時代からの友人に誘われ、大学よりアルバイトとして入り、大学卒業後くら寿司に就職して数年後には店長に。その後、2011 年より広報宣伝 IR 本部 販売促進部へ異動します。そんな稲葉が YouTube を始めたきっかけは？ YouTuberとして、日々どんな活動をしているの？あらゆる視点から、YouTuber「イナバ」の実態に迫ります。

最新動画は下記 URL から、ご覧いただけます。

178 イナバニュース【くら寿司公式】 <https://www.youtube.com/channel/UCh6E4e3huqLiV7KECxb3qw>

—YouTube をやろうと思ったきっかけを教えてください。

稲葉: 2011年に広報宣伝 IR 本部 販売促進部へ異動して、主に折込チラシや店舗の販促物の担当をしていました。たまにテレビの取材に立ち会うこともあり、動画を用いた情報発信について興味はありました。その延長線で、くら寿司の最新情報を動画でニュース風に伝えたら面白いだろうな、と思い、自分から社内へ自主提案したのがきっかけです。



—自主提案のハードルは高かったのではないのでしょうか？

稲葉: くら寿司の方針で“全員経営”があるのですが、社員もアルバイトやパートもどんどんやってみたいことを提案できる土壌があるのです。この YouTube 企画もその一環で、「やるからには、本気で挑戦してみなさい」と上層部から言われた時は、正直驚きました。ただ、これまでカメラとかムービーとかそういうのは一切やったことがなく、ましてやこれまで YouTube もきちんと見たことがなかったので、最初は何から手をつけていいのか、何をどうすればいいのか、本当に手探り状態でのスタートでした。

—実際に YouTuber として活動してみているいかがですか？



稲葉: 始める上で、まずは本数を多く出さないと意味がないと思い、年間 178 本を目標にスタートしました。平たく言いますと週 3 本アップすることになります。企画、撮影、編集を同時進行でやっていくので、それを岩澤さんと僕と二人でやっていくのは大変な時もありますね。

制作は専属チームを作ったり、プロの方をお願いすることもできますのですが、まずは現場の社員が力を合わせて作っていくことが“くら寿司らしさ”だと思うので、そこからスタートしています。

—手作り感にこだわっているのですね。その他にも制作する上で大切にしていることはありますか？

稲葉: 「178 イナバニュース」のコンセプトは、楽しく、明るく、くら寿司を紹介することです。私の見た目がインパクトあるので、明るさ・楽しさは画面上で表現できているとは思っています。それに、私は大学時代からくら寿司でアルバイトをするぐらいくら寿司が大好きなので、私の好きなくら寿司を皆さんに知っていただけて、ファンになっていただければ、という思いで作っています。

—YouTuber になって、やりがいや手応えを感じることはありますか？

稲葉: YouTube は決して一人ではできるものではないので、一緒に制作している岩澤さんをはじめ、いろんな方々と意見交換をしながら動画をつくり、それが再生回数やコメントなどの反響につながるのにやりがいを感じますね。あと、店舗に行った時に店長や社員だけでなく、アルバイトやパートの方に「見ていますよ」と声をかけられるのが嬉しいですね。家族からは、アップした動画について「こうすればいいのに」とアドバイスをもらったりしていますが、一時期流行ったモーニングルーティーンをアップした時は、速攻で家族から「大丈夫か」とツッコミが入りましたね。(笑)



—今後の目標について教えてください。



稲葉: 今はチャンネル登録者数が 953 人(2020 年 8 月時点)なので、当面の目標はチャンネル登録者数 1000 人が目標ですが、大きな目標は 1 万人を目指して頑張っていきます。今は、様々なジャンルの動画をアップして、くら寿司ファンの方だけでなく、幅広い年齢の方々にくら寿司を知っていただき、ファンになるきっかけになればと思っています。ゆくゆくは人気 YouTuber の方などの共演もやりたいのですが、まだまだ新参者なので、もっと頑張っていきます！

盟友 岩澤が語る。YouTuber「イナバ」って、こんな人。

昨年の10月から稲葉さんと一緒にYouTubeを一緒に作っていますが、稲葉さんのすごいところは、どんな無茶ぶりもやっつけてしまう対応力ですね。稲葉さんがお寿司のラップを歌ったら面白いだろうな、と思って提案したところ、曲を作ってきたのはびっくりしました。予想よりもスベってしまい、残念でしたが…(笑)また、被り物やキャラクターに変身するときは目がキラキラするので、根っからのYouTuberではないでしょうか。撮影時も何度かダメ出しをすることもあるのですが、それをきちんと受け止めてくれ、僕の意見を尊重してくれるのは稲葉さんのお人柄ですね。一緒にできてよかったと思っています。



一緒に制作している
販売促進部 岩澤雄二(36)

上司 辻が語る。YouTuber「イナバ」って、こんな人。

稲葉は本当にくら寿司のことが好きで、とても強力な「くら寿司愛」が画面から伝わってきます。また、くら寿司の情報だけでなく、モーニングルーティーンのようなその時々トレンドも織り交ぜて情報発信をすることで、幅広い層の方々にアプローチしています。そうなった時に重要なのがキャラクターだと思います。稲葉は芸人さんのように面白いタイプではないけど、愛されキャラです。彼は、店長時代も従業員から慕われており、それは彼の持つサービス精神や、独特なコミュニケーション能力が、人の心を掴むのではないかと思います。その良さが生かされれば、今までとは違う形で、お客様へ有益な情報をお伝えできるのではないかと期待しています。



愛ある指導で応援してる
広報部 MG 辻明宏(46)

YouTuber イナバの撮影裏側に密着取材！ 実はとても忙しい！？企業 YouTuber の実態に迫る！

毎週3本のペースで動画をアップしているYouTuberイナバ。実際に仕事(撮影)をしているところに密着取材を実施！現場でのこだわりや大変さなど生の様子をお届けします！

企画会議

2週間に1回のペースで企画会議を実施。
くら寿司の新品情報からキャンペーン、そしてYouTubeのトレンドまで様々な企画を持ち寄って、動画の内容、配信計画を企てます。



撮影

こちらも2週間に1回、6本の動画の取材・撮影を行います。
商品を撮影するときは店舗で撮影することもあれば、会社、そして自宅など、企画にあわせてフレキシブルに撮影を行います。
稲葉曰く「YouTuberになってから、カメラアングルにこだわるようになった」とのこと。



編集

撮影後は編集作業へ。「取材、ナレーション、テロップ、効果音などバラエティ番組はものすごく勉強になりますね。何年もYouTuberをやっている諸先輩方は本当にすごいと実感しています」と岩澤。



最新動画は下記URLから、ご覧いただけます。

178 イナバニュース【くら寿司公式】<https://www.youtube.com/channel/UCh6E4e3huqLiV7KECxbw3qw>

YouTuber イナバの1日に密着！

AM7:30 起床

AM8:00 朝食

この日は動画企画、「一週間くら寿司生活」の真ただ中で、くら寿司の通販商品がメインの朝食。



AM10:00 出社

AM10:00～13:00 業務

販促業務。店頭ツールをチェックします。



PM13:30 昼食

ランチはもちろん“くら寿司”！食事風景を撮影します。



PM14:30～18:30 業務

販促業務。午前中の続きをします。

そして次の動画の企画やその日の撮影の準備を進めます。

PM18:30 夕食

この日は、夕食も“くら寿司”を食べます。

食事風景を撮影します！



PM21:00 帰宅

帰宅後は、手洗い、うがいをして、お風呂に入ります。

PM22:00 趣味の時間

最愛のパートナー ギラファノコギリクワガタを愛でることが
疲れを癒すことのできる至福の時間…！

